

報道発表資料

平成19年12月7日

気象庁

福岡気象レーダーの観測データの方位方向のズレについて

気象庁の福岡気象レーダーは、従来型の気象レーダーから気象ドップラーレーダーに更新し、本年11月15日に運用を開始しました。

このたび、同レーダーで観測される降水域が、レーダーを中心に真の方位から右(時計回り)に1.5度程度ズレていることが判明しました。このズレの大きさは、レーダーから100kmの地点において約2.6km、200kmの地点では約5.2kmです。

ズレの大きさを考慮すると、本レーダーによる降水の監視には、このズレは特段の障害とはなりませんが、詳細にデータをご利用の方はご注意ください。

同レーダーの観測は継続することとし、現状をデータ利用者に連絡するとともに、障害の速やかな復旧と原因究明につとめております。

本件に関する問い合わせ先

観測部観測課 レーダー技術係長 内線 4141